

# JOB REPORT

## 箸の材料に水を散布

箸製造業の方から、「現在、陸上ポンプを使用して、20基のスプリンクラーを動かして箸の材料になる木材に昼夜、水を散布し木の乾燥を防いでいる」「しかし、陸上ポンプは呼び水などに手間がかかり、吸い込みホースや軸封部より空気が入りやすく、またグランドの増し締めにより軸が短期間で傷むなど面倒なことが多い。何か良い方法はないか」と相談を受けた。

今使っている陸上ポンプの仕様から、高揚程水中ポンプ、2ステージシリーズのU-2153W形を選定。実際に使用してみると、このU-2153Wの方が今まで以上に水量が出るし、取り扱いやすい上、シール寿命も良く、安心して使用できると喜ばれた。

現在は温度センサーにより17℃以下になった時（雨が降れば温度が17℃より下がる）にポンプが止まるよう自動制御されているが、夏場は温度の設定が難しいため手動で運転している。

近い将来、雨量センサーとインバーター制御で、より正確で手間のかからない効率の良い方法にする予定で、現在テスト中である。



この井戸の中にU-2153Wが入っています。

### 仕様 (U-2153W)

- 口径……………80mm
- 全揚程……………65m
- 吐出し量……………0.5m<sup>3</sup>/min
- モータ出力……………11kW
- 最大径……………280mm
- 高さ……………885mm
- 重量……………145kg

納入先 箸製造の協立産業㈱